

# コミュニティ連携・人材育成グループの 検討状況報告

平成22年11月10日

学術情報基盤オープンフォーラム2010

# メンバー紹介

---

主査	辻澤 隆彦	東京農工大学
幹事	阿部 俊二	国立情報学研究所
	曾根 秀昭	東北大学
	長谷川 孝博	静岡大学
	相原 玲二	広島大学
	曾根原 登	国立情報学研究所

# WG活動状況(1)

## ◆ 検討状況概要

- ・ 4月26日の主査幹事会議を受けて、第1回目の本ワーキンググループの会合を5月27日に開催した。
- ・ 第1回目のワーキンググループ会議の議論を踏まえ、課題となった事項の進め方などのたたき台を作成するために、主査、幹事、NII企画作業部会事務局による会合を3回開催した。各会議の内容は以下に示す。
- ・ 今後の予定としては、次回のワーキンググループ会議で、たたき台や主査幹事会での課題について議論検討することを考えている。

## ◆ 第1回ワーキンググループメンバー会議の報告

日時 5月27日 13:00-15:00(参考資料1-1参照)

出席者 辻澤WG主査、阿部WG幹事、曾根WGメンバー、相原WGメンバー、長谷川WGメンバー、曾根原WGメンバー、安達委員、佐藤専門員、平原特任専門員

### 内容

- ・ 4月26日の主査幹事会議を受けて、WGメンバー会議を実施。
- ・ 基本方針として大学におけるクラウドに対する取り組み及び効率化に向けた取り組みをメールシステム、クラウドシステム、地域連携をキーワードに成功例や失敗例を含めて事例検証を行い、参加大学にとって参考になるレポートの取りまとめを行うことを確認。

### 具体的には

- 1) 事例研究としては大規模大学の例と小規模大学の例を調査する。
- 2) また、東海クラウドや四国クラウドなどの事例を調査し、コミュニティ連携のあり方をレポートとしてまとめる。

# WG活動状況(2)

## ◆ 第1回主査・幹事・NII事務局ミーティング

日時 6月10日 13:30-15:00

出席者 辻澤WG主査、阿部WG幹事、長谷川WGメンバー、佐藤専門員、平原特任専門員

### 内容

- ・ 静岡大学クラウドシステムについて、長谷川WGメンバーから詳細をヒアリング。
- ・ 消費電力量の見える化、サーバのクラウド化について説明があった。
- ・ クラウドシステムを推進された動機などさらなるヒアリングを進めるため、静岡大学井上先生にヒアリングを行うことを依頼。

## ◆ 第2回主査・幹事・NII事務局ミーティング

日時 6月18日 10:00-12:00(参考資料2-2参照)

出席者 井上教授(静岡大学)、辻澤WG主査、阿部WG幹事、庄司特任研究員、佐藤専門員、平原特任専門員

### 内容

- ・ 静岡大学における情報システムの調達や情報システムの運用管理について、井上先生から概要をヒアリング。
- ・ 資料「大組織向け情報基盤調達コスト低減の指針」を基に、静岡大学における情報基盤調達ノウハウの伝承について説明があった。
- ・ 他大学においても参考になる点が多く、再度、ライターを通じたヒアリングの了解を得た。

# WG活動状況(3)

## ◆ 第3回主査・幹事・NII事務局ミーティング

日時 7月23日 10:00-12:00

出席者 辻澤WG主査、阿部WG幹事、平原特任専門員

### 内容

- ・ 静岡大学(井上先生)への具体的ヒアリング項目に関して検討を行った。  
以下の視点を含めて、ライターとの調整を行い、ヒアリングを進めることとした。
  - 1 大学内での情報システムの調達や情報システムの運用管理に関して、学内への伝承をどのように進められているのか。
  - 2 地域内での教育メカニズムに関して 非常勤講師や専門学校連携に関してどのようなメカニズムで進められ、どのように学内で承認を得てこられたのか。
  - 3 この時期にクラウドシステムへ進もうと決められた動機はなにか。
  - 4 準備期間はどのくらいあり、組織体制や外部の会社との連携を含めてどのように進めてきたのか。
  - 5 外部の会社との連携を進めるにあたっての要点は何か。
- ・ 企画作業部会での報告事項について議論を行った。

## ◆ 今後の計画

- ・ 大学におけるクラウド化、効率化の取りまとめでレポート化を行う一つとして静岡大学に取材を行う予定(11月中)
- ・ メールアウトソーシング事例調査を行う予定。(11月より)